

鶴ヶ峰駅南口地区第一種市街地再開発事業
(ココロット鶴ヶ峰)



プロジェクト概要

相鉄線鶴ヶ峰駅周辺地区は、隣接する二俣川地区と併せ、横浜市における5つの副都心地区のひとつに位置づけられている。しかし駅南側は栗畑が広がる疎な土地利用の上、駅前広場等の公共施設整備も大きく立ち遅れており、都市機能の強化が急がれる状況にあった。

駅前交通広場や駅周辺地区の連絡道路の整備に併せ、地上1階から地上5階の低層部に店舗、公共公益施設、医療施設を配し、地上6階から29階の上層部は住宅とする複合建物を整備した。

また高低差のある地形を生かし、駅からの歩行者デッキを建物内の自由通路とつなぎ、更に周辺街区と連絡を図るなど、安全で快適な交通環境の創出に努めており、都市機能の高度集積とランドマークとなる建築形態と相まって副都心地区としての拠点性を高めるまちづくりをめざしている。

詳細情報

建設地	横浜市旭区
建築主	鶴ヶ峰駅南口地区市街地再開発組合
再開発コーディネーター	(株)アイテック計画
設計／監理	(株)石本建築事務所
デベロッパー	明和地所(株)
キーテナント	相鉄ローゼン(株)
施工	西松・相鉄JV
構造／規模	RC(一部S)造 地下1階 地上29階
地区面積	約15,000㎡
敷地面積	約8,200㎡
延べ面積	約48,100㎡
都市計画決定	平成14年2月
組合設立認可	平成16年1月
権利変換計画認可	平成17年4月
竣工	平成19年8月